

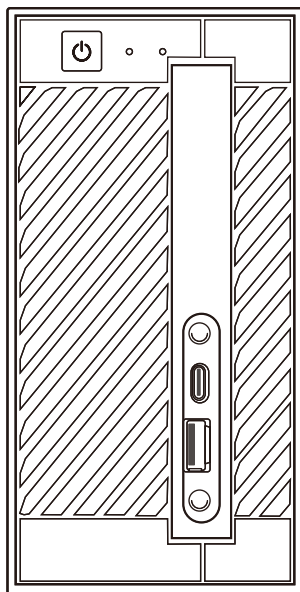
CS-NVR01 ヘルプ

特長

弊社の簡単 IP ネットワークカメラ『スマカメ』シリーズ専用の録画機器です。

カメラの映像を遠隔地から見ることができるほか、

複数台のカメラ映像の同時表示・同時録画に対応しています。



お取り扱い上の注意

本製品のご利用に際しましては、同梱の「かんたん設定ガイド」、「はじめにお読みください」に記載されている警告および注意をご覧ください、必ずお守りください。これらの事項が守られないとき、「感電」「火災」「故障」などが発生する場合があります。

これによって人が負傷したり、死亡につながる恐れがあります。また、万一「発火」「発煙」「溶解」などが発生した場合には速やかに本製品の利用を中止し、弊社サポートセンターへ連絡するようお願いいたします。

目次

1. はじめに

1.1 同梱物	2
---------------	-------------------

1.2 各部の名称	3
-----------------	-------------------

2. 本製品のセットアップ

2.1 周辺機器を接続する	4
---------------------	-------------------

2.2 本体の電源を入れる	4
---------------------	-------------------

3. 本製品の使い方

3.1 メイン画面	5-6
-----------------	---------------------

3.2 タスクトレイメニュー	6
----------------------	-------------------

3.3 ライブ映像を見る（映像表示画面）	7-9
----------------------------	---------------------

3.4 スマカメを登録する（スマカメリスト画面）	10-13
--------------------------------	-----------------------

3.5 スマカメの設定を変更する（スマカメ設定画面）	14-19
----------------------------------	-----------------------

3.6 録画映像を見る（動画リスト画面）	20-23
----------------------------	-----------------------

3.7 イベント録画映像を見る（イベントリスト画面）	27-30
----------------------------------	-----------------------

3.8 各種設定画面	34-36
------------------	-----------------------

4. お問い合わせについて	37
---------------------	--------------------

5. 商標について	37
-----------------	--------------------

6. ソフトウェアについて	38-39
---------------------	-----------------------

1. はじめに

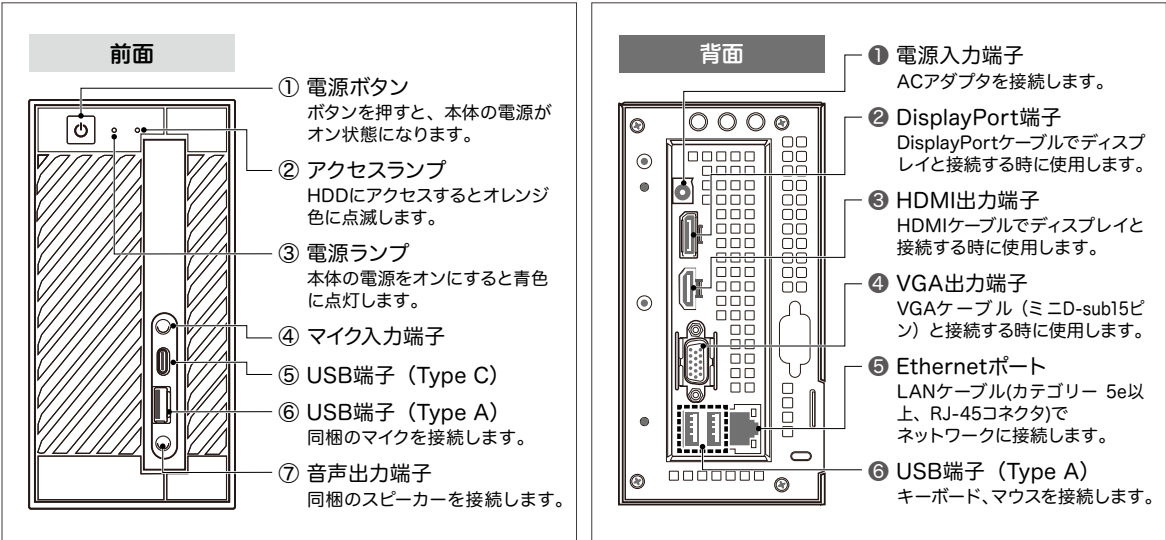
1.1 同梱物

パッケージには次の付属品が含まれています。

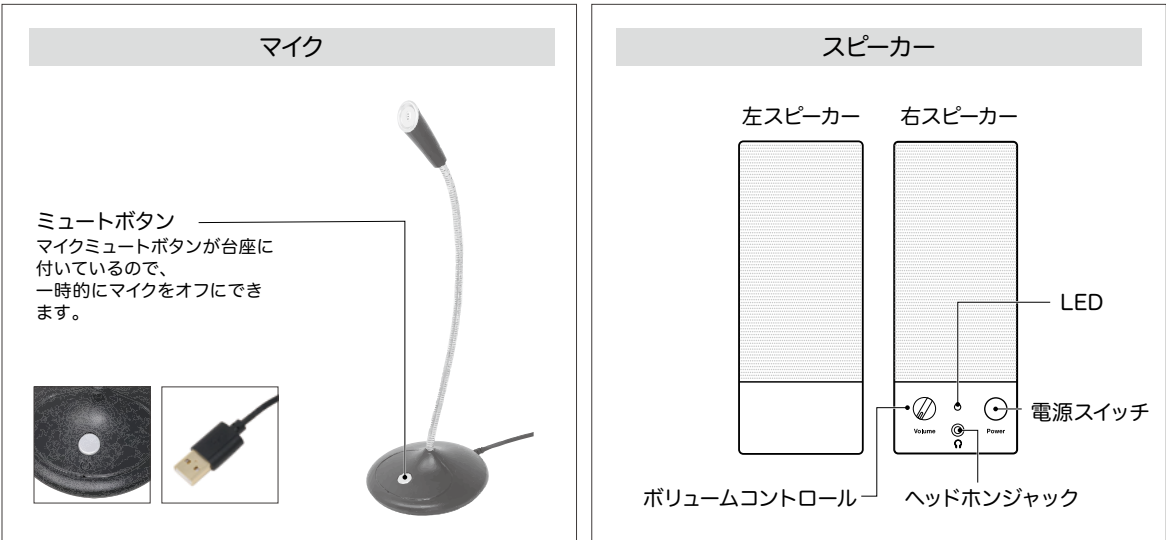
- 本体
- AC アダプタ
- キーボード
- マウス
- スピーカー
- マイク
- かんたん設定ガイド、保証書

1.2 各部名称

(本体)



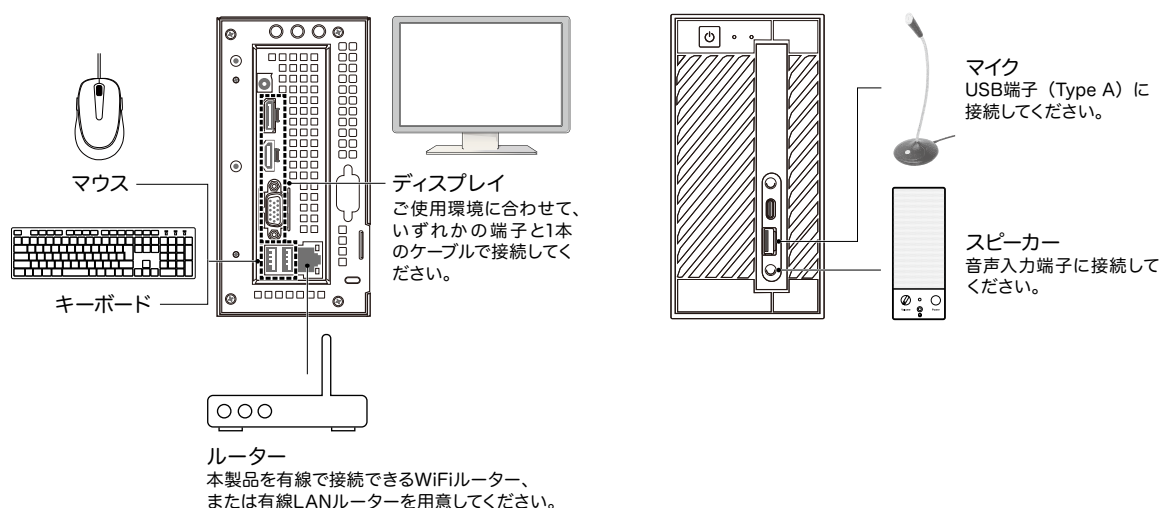
(付属品)



2. 本製品のセットアップ

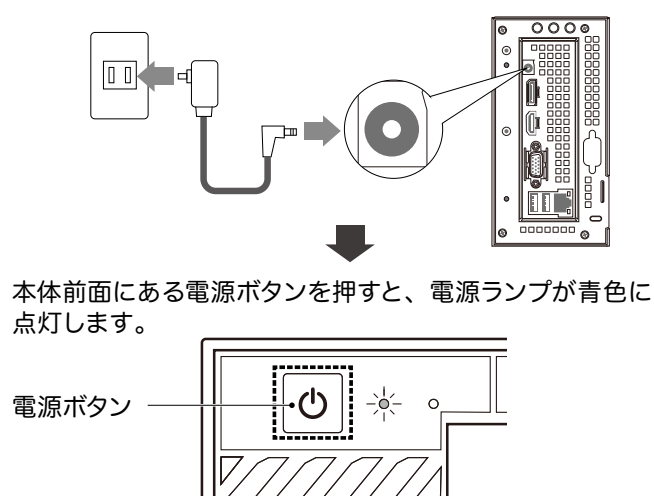
2.1 周辺機器を接続する

※インターネットに接続できるネットワーク環境を用意してください。



2.2 本体の電源を入れる

付属の AC アダプタを本体背面の電源端子とコンセントに接続します。

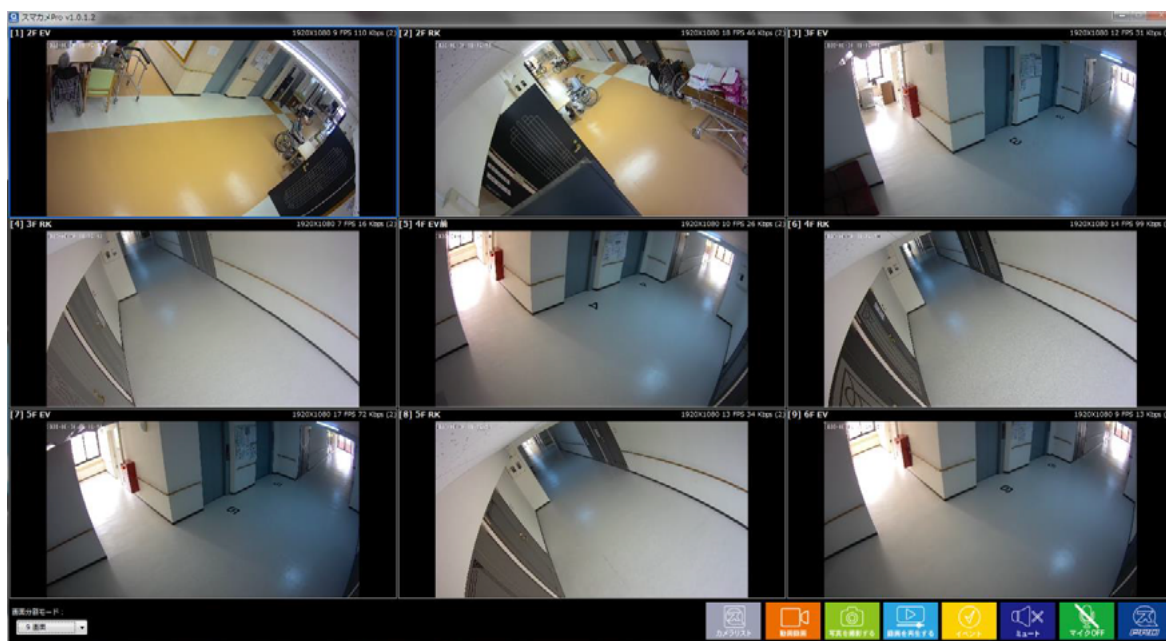


❗ **[Windows] + [L]** キーでロックした場合は、復帰時に「**smarec**」と入力してください。

3. 本製品の使い方

本製品は、複数台のカメラ映像を同時に見ることやカメラの画質・録画の設定など様々な設定をおこなうことができます。

3.1 メイン画面



カメラの映像	登録したスマカメのライブ映像が表示されます。
4画面 メニュー	画面レイアウトを選択します。最大9台のカメラの映像が表示できます。複数台のスマカメを接続している場合、1画面または4画面ごとに各スマカメのライブ映像を自動的に切り替える巡回表示、登録しているスマカメの接続状態を表示する監視モードがあります。
カメラリスト ボタン	本機器に登録しているスマカメの一覧画面を表示します。スマカメを登録する場合は「 3.4 スマカメを登録する 」を、どこでもセンサーを登録する場合は「 3.5.5 どこでもセンサー設定画面 」を参照してください。
動画録画 ボタン	クリックすると録画中ボタンに切り替わり、登録しているすべてのカメラ映像の録画を開始します。再度クリックするとすべての録画が停止されます。録画ファイルの保存先は「 3.5 スマカメの設定を変更する 」を参照してください。
写真を撮影する ボタン	クリックすると登録しているすべてのカメラ映像のスナップショットを撮影し、静止画ファイル(PNG形式)を保存します。静止画ファイルの保存先は「 3.5 スマカメの設定を変更する 」を参照してください。

	録画したカメラ映像の再生画面を開きます。 「3.6 録画映像をみる」を参照してください。 ※音声は録音されません。
	イベントリスト画面を開きます。登録しているスマカメの microSD カード内に保存されているイベント録画映像（動体検知録画、連続録画）を視聴できます。 「3.7 イベント録画映像をみる」を参照してください。
	選択しているスマカメのマイク機能をオン / オフします。 オンのときは「聞く」ボタン、オフのときは「ミュート」ボタンが表示されます。 オンにした場合、本機器に接続されたスピーカーからスマカメの音声が出力されます。
	選択しているスマカメのスピーカー機能をオン / オフします。 オンのときは「マイク ON」ボタン、オフのときは「マイク OFF」ボタンが表示されます。 オンにした場合、本機器に接続されたマイクの音声スマカメから出力されます。 ※ CS-QS20、CS-QS30、CS-QS50-LTE は音声途切れます。
	本機器の設定画面を表示します。 「3.8 各種設定画面」を参照してください。

3.2 タスクトレイメニュー



タスクトレイ上でスマカメ Pro のアイコンを右クリックするとタスクトレイメニューを表示します。

タスクトレイメニュー	
録画の一括開始	登録しているすべてのカメラ映像の録画を開始します。 通常時は青いアイコン、録画中は赤いアイコンを表示します。
録画の一括停止	登録しているすべてのカメラの録画動作を停止します。
最小化	表示しているスマカメ Pro を非表示にします。
元のサイズに戻す	非表示になっているスマカメ Pro を表示にします。
スマカメ Pro を終了する	スマカメ Pro のプログラムを終了します。

録画中はステータス情報が赤くなります

センサー情報ウィンドウ

右クリックメニュー

選択しているライブ映像には青い枠が表示されます

画面分割モードを操作して、1画面・4画面・6画面・9画面のレイアウトで表示するスマカメのライブ映像を切り替えることができ、複数台のスマカメを接続して1画面または4画面を選択した場合、各スマカメのライブ映像を一定間隔、順序で自動的に切り替える巡回表示をおこないます。

7

3.3.1 ステータス情報

各ライブ映像の上部には、スマカメの登録情報や通信ステータス情報が表示されます。



① カメラ番号	スマカメリスト画面で登録しているカメラの登録 No. です。
② カメラ名	スマカメリスト画面で登録しているカメラの名前です。
③ カメラの解像度	スマカメの映像品質設定(最高・高・中・低・最低)に応じて、スマカメから送られてくる映像の解像度は変わります。
④ FPS (フレームレート)	スマカメから送られてくる映像のフレームレートです。
⑤ 人感センサー (左) / 環境センサー (右) アイコン	マウスカーソルをアイコンに乗せると、サーバーから自動 (5分間隔) で取得したデータを表示します。 センサー情報ウィンドウ表示例 (人感センサー) 2021年02月12日 10時08分00秒に検知しました。 ※この値は5分ごとに自動で更新されます。 ※アイコンクリックで最新の計測値をサーバーから取得します。 ※サーバーからの計測値取得は、1デバイスあたり500回/日の制限があります。 センサー情報ウィンドウ表示例 (環境センサー) 2021年02月12日 10時08分00秒 温度: 25.97度 湿度: 21.16% 気圧: 1023.94hPa ※この値は5分ごとに自動で更新されます。 ※アイコンクリックで最新の計測値をサーバーから取得します。 ※サーバーからの計測値取得は、1デバイスあたり500回/日の制限があります。 アイコン () をクリックすると最新のデータを取得します。 また「3.5.5 どこでもセンサー設定画面」で設定した条件を満たした場合、アイコンを変化させて () お知らせします。 ※WS-USB01-THP/WS-USB02-PIRを別途ご用意ください。 ※WS-USB01-THP/WS-USB02-PIRが計測したデータは Planex Cloud Service に記録されます。

3.3.2 ライブ映像の操作

ライブ映像画面では下記のマウス操作が可能です。

ライブ映像 マウス操作	
クリック	カメラのライブ映像が選択されます。 選択されているライブ映像には青い枠が表示されます。
ダブルクリック	カメラのライブ映像を最大画面表示します。 画面表示を元に戻すときは、再度ダブルクリックします。
ドラック&ドロップ	カメラのライブ映像の表示位置を移動することができます。 (表示する位置を移動すると、カメラ番号が変更されます。)
右クリック	ライブ映像の操作メニューを表示します。

ライブ映像 右クリックメニュー		
録画の開始		選択しているカメラのライブ映像の録画を開始します。
録画の停止		選択しているカメラのライブ映像の録画を停止します。
時間を指定して録画開始		録画時間を指定(制限)して録画を開始します。※ CS-QV40Bのみ有効
写真の撮影		選択しているライブ映像のスナップショットを撮影し、 静止画(PNG形式)で保存します。
写真の表示		撮影した静止画の保存先フォルダを開きます。
表示モード ※CS-QV360C、 CS-QS51-LTEのみ 有効	通常	映像をそのまま表示します。
	平面	映像をデワープして平面化して表示します。
	2分割	映像を上下2分割して表示します。
	4分割	映像を4分割して表示します
	回転なし	映像をそのまま表示します。
	90度	映像を時計回りに90度回転します。
	180度	映像を時計回りに180度回転します。
	270度	映像を時計回りに270度回転します。
録画の再生		選択しているカメラの録画映像の再生画面を開きます。 「3.6 録画映像をみる」 を参照してください。
イベントの再生		選択しているカメラのイベントの再生画面を開きます。 「3.7 イベント録画映像をみる」
通信ステータス		通信ステータス情報の表示⇄非表示を切り替えます。
設定		選択しているカメラのスマカメ設定画面を開きます。 「3.5 スマカメの設定を変更する」 を参照してください。
スマカメ再起動		選択しているスマカメを再起動します。 ※録画中は使用できません(非活性)。
再接続		選択しているスマカメと再接続します。 既に接続されている場合は一旦切断されます。 ※録画中は使用できません(非活性)。

3.4 スマカメを登録する（スマカメリスト画面）



本機器で視聴したいスマカメの登録・編集・削除をおこなうための画面です。

スマカメ本体の QR ラベルに記載されている「UID」と「パスワード」を入力して、簡単にスマカメの登録をすることができます。

インポート・エクスポート機能を使えば、登録されているスマカメの一覧を外部ファイル（CSV 形式）に保存したり、保存されている外部ファイルからスマカメを一括登録することも可能です。

※エクスポートされた外部ファイルには、登録されているスマカメの「UID」「パスワード」などの情報が含まれています。ファイルの管理には十分ご注意ください。

3.4.1 スマカメ検索

本機器と同じローカルネットワーク内に設置されているスマカメを自動的に検索して、簡単に登録をすることができます。

※本機器を、スマカメが接続されているルーター機器に接続する必要があります。

<スマカメ検索>

検索結果リスト	検索結果を表示します。 本機器に登録済みのスマカメは「○」、未登録のスマカメには「ー」が表示されます。 登録したいスマカメをダブルクリックすると、スマカメ登録画面（登録情報の編集画面）が表示されます。
[検索]	本機器と同じローカルネットワーク内に設置されているスマカメを検索します。

本機器と別のネットワークに接続しているスマカメ（異なるルーター機器に接続、別拠点に設置など）の追加や、検索機能を使用せずに新しいカメラを追加する場合は、＜スマカメ一覧＞でカメラが登録されていない箇所を選択し編集ボタンをクリックしてください。

スマカメ登録画面が表示されますので、登録したいスマカメの「UID」と「パスワード」を入力することで登録できます。

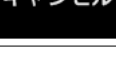
※カメラが登録されていない箇所をダブルクリックしても、スマカメ登録画面が開きます。

3.4.2 スマカメ一覧

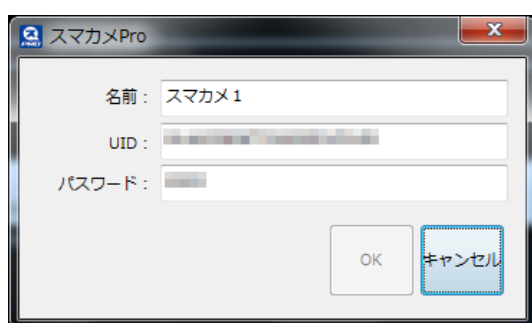
本機器に登録されているスマカメの一覧です。

本機器で視聴・録画したいスマカメの登録・編集・削除をおこなうことができます。

＜スマカメ一覧＞		
No.		登録しているスマカメの番号です。 ライブ映像表示画面に表示される「カメラ番号」と連動しています。 順序を変更すると、ライブ映像画面に表示されるスマカメ映像の順序が変更されます。
名前		登録しているカメラ名が表示されます。
UID		登録しているスマカメの UID が表示されます。
録画中		録画動作中のスマカメは「○」が表示されます。
通信モード	LAN	本機器とスマカメが『LAN モード』で接続しているときに表示されます。
	ダイレクト	本機器とスマカメが『ダイレクトモード』で接続しているときに表示されます。 ダイレクトモードについては こちら を参照してください。
	ビジネス	本機器とスマカメが『ビジネスモード』で接続しているときに表示されます。 ビジネスモードについては こちら を参照してください。
	—	カメラが未登録、または接続できないときに表示されます。
ビジネスモード制限解除		ビジネスモード視聴制限解除ライセンスをご購入の上、解除されている場合には「○」、未解除の場合には「×」が表示されます。 ソフト電池を購入・充電することで解除することが可能です。 ※本機器ではご購入時に解除されています。
台数制限解除		視聴台数制限解除ライセンスをご購入の上、解除されている場合には「○」、未解除の場合には「×」が表示されます。 ソフト電池を購入・充電することで解除することが可能です。 ※本機器ではご購入時に解除されています。

	ボタン	<スマカメ一覧>で選択しているスマカメの登録・編集 画面を開きます。
	ボタン	<スマカメ一覧>で選択しているスマカメを一覧から削除します。
	ボタン	<スマカメ一覧>で選択しているスマカメの順序を上に移動して、No. (スマカメの番号) を変更します。
	ボタン	<スマカメ一覧>で選択しているスマカメの順序を下に移動して、No. (スマカメの番号) を変更します。
	ボタン	<スマカメ一覧>で選択しているスマカメの設定画面を表示します。 「3.5 スマカメの設定を変更する」 を参照してください。 センサー設定についてもここから進んでください。
	ボタン	スマカメの各種登録情報が保存されている外部ファイル (CSV形式) をインポートして、<スマカメ一覧>に上書き登録します。
	ボタン	<スマカメ一覧>に登録されているスマカメの各種登録情報を、外部ファイル (CSV形式) にエクスポートして保存します。
	ボタン	本画面で変更した各種設定内容を保存します。
	ボタン	本画面で変更した各種設定内容を取り消し、スマカメリスト画面を閉じます。

3.4.3 スマカメ登録・編集画面



スマカメの登録情報を編集します。

登録情報の編集	
名前	カメラの名前を入力します。
UID	選択しているスマカメの UID を入力します。
パスワード	選択しているスマカメのパスワードを入力します。
[OK]	入力した設定を保存します。
[キャンセル]	設定を取り消します。

3.4.4 スマカメ登録方法

本機器とスマカメ本体が同じネットワークに接続されているときは、以下の手順でスマカメの登録ができます。

※本機器とスマカメ本体が別のネットワークに接続されているときは「[3.4.2 スマカメ一覧画面](#)」で手動登録をおこなってください。

- ①メイン画面下部にある [カメラリスト] ボタンをクリックしてください。



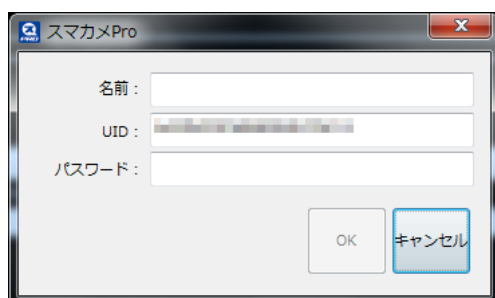
- ②<スマカメ検索>欄の [検索] ボタンをクリックします。
同じローカルネットワーク内に設置されているスマカメが一覧に表示されます。

＜スマカメ検索＞
同じローカルネットワーク内に設置されているスマカメを検索します。
登録したいスマカメをダブルクリックしてください。

No.	UID	IPアドレス	UDPポート番号	登録済
1	11111111111111111111	192.168.110.163	47793	-
2	22222222222222222222	192.168.110.122	58737	○
3	33333333333333333333	192.168.110.184	49668	-
4	44444444444444444444	192.168.110.117	48139	-
5	55555555555555555555	192.168.110.156	60207	-

検索

- ③検索結果欄から登録したいスマカメをダブルクリックします。
スマカメ登録画面が表示されるので、名前とスマカメ本体の QR ラベルに記載されている「パスワード」を入力して [OK] をクリックします。



※ 安全にご使用いただくため、必ず初期パスワードから変更してください。
(「[3.5.7 パスワード設定画面](#)」を参照してください。)

- ④<スマカメ一覧>に 手順 3. で入力した スマカメが登録されます。
「スマカメリスト」画面右下にある [保存] ボタンをクリックします。

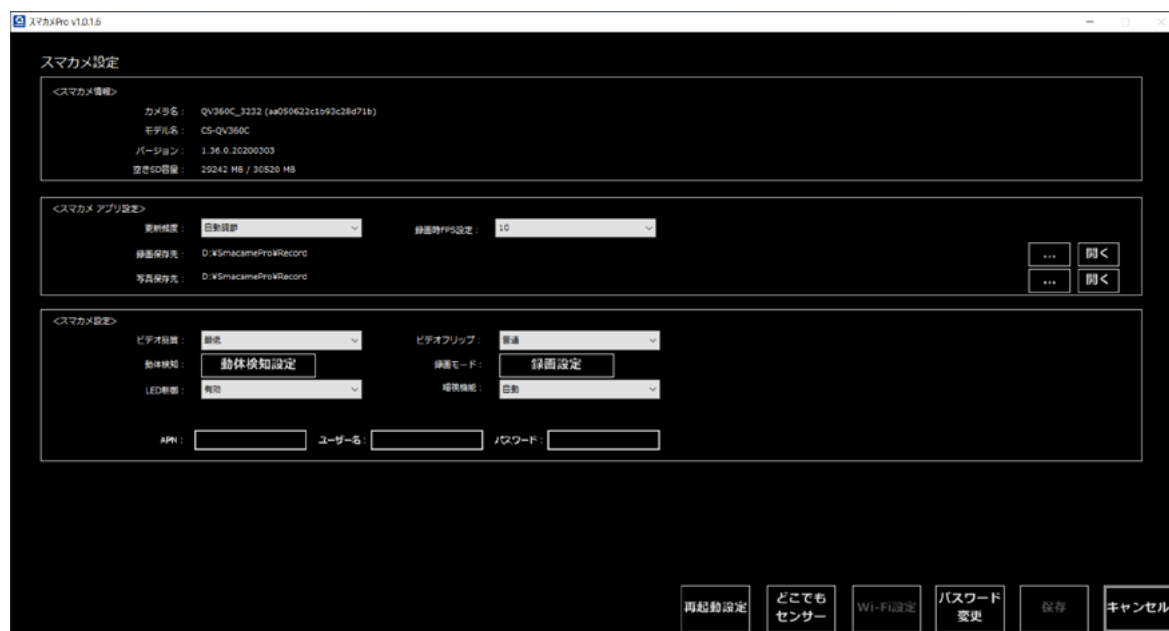
- ⑤メイン画面に登録したスマカメの映像が表示されます。

注 意

初回に以下のスマカメ機種を登録する際、カメラリスト画面で [保存] ボタン押下後にプログラムが不正終了する場合があります。スタートメニュー「スマカメPro」から起動していただくか、プログラムが自動的に起動するまでしばらく（最大60秒）お待ち下さい。なお不正終了する前のカメラ情報は正常に保存されており、スマカメPro再起動後のカメラ登録 2台目以降は継続して行うことができます。

【対象機種】CS-QR10、CS-QR20、CS-QR22、CS-QR30、CS-QR30F (UID末尾 111A)、CS-QR100F、CS-QR220、CS-QR300、CS-QV40B、CS-QV60F、CS-QP50F、CS-QP80F、CS-QS10 (UID末尾 111A)、CS-QS20、CS-QS30、CS-QS50-LTE

3.5 スマカメの設定を変更する（スマカメ設定画面）



スマカメ本体の各種設定情報の表示・編集をおこなうための画面です。

適用されているファームウェアバージョンや microSD カードの空き・全容量の確認、映像品質の変更、動体検知や microSD カードへの録画などの設定を変更することができます。

また、本機器の録画映像の保存先フォルダ（ドライブ）の変更、映像の更新頻度の調整などもおこなうことができます。

どこでもセンサー設定、Wi-Fi 設定（無線 LAN 対応スマカメのみ）、スマカメのパスワード設定をおこなう画面へのボタンもこちらに表示されます。

3.5.1 スマカメ情報

スマカメの各種情報を表示します。

<スマカメ情報>	
カメラ名	スマカメ登録時のカメラ名と UID を表示します。
モデル名	スマカメのモデル名を表示します。
バージョン	スマカメ本体のファームウェアバージョンを表示します。
空き SD 容量	スマカメ本体に挿入した SD カードの空き容量と全容量を表示します。

3.5.2 スマカメアプリ設定

スマカメの映像視聴・録画における本機器の設定情報を表示します。

<スマカメ アプリ設定>	
更新頻度	映像表示画面で、選択されていない（非青枠）スマカメの映像を更新する頻度を設定します。更新頻度の設定によって、本機器に負荷がかかる場合がありますので「自動調節」を推奨します。 ※本設定では、1秒間に描画するフレーム数を調整して、本機器での処理の負荷を軽減します。 ※選択している（青枠）スマカメの映像には本設定は適用されません。
録画時 FPS 設定	本機器にスマカメの映像を録画する際のフレームレート（FPS）を指定します。本フレームレートを調整しないと、映像の再生が早くなったり遅くなったりします。 ※初期設定値は「10FPS」に設定されています。
録画保存先	録画した動画ファイルの保存先を指定します。 右側の  ボタンをクリックして保存先のフォルダを変更できます。 ※初期設定では「D:\¥SmacamePro¥Record」フォルダが指定されています。 ※録画先を変更する場合は、十分に空き容量のあるドライブを指定してください。 ※  ボタンをクリックすると、録画した動画ファイルの保存先フォルダを開きます。 ※録画中は使用できません（非活性）
写真保存先	撮影した静止画ファイルの保存先を設定します。 右側の  ボタンをクリックして保存先のフォルダを変更できます。 ※初期設定では「D:\¥SmacamePro¥Record」フォルダが指定されています。 ※  ボタンをクリックすると、撮影した静止画の保存先フォルダを開きます。 ※録画中は使用できません（非活性）。

3.5.3 スマカメ設定

スマカメの各種設定情報を表示します。

値を変更することで、スマカメの設定情報を変更することが可能です。

<スマカメ設定>	
ビデオ品質	カメラ映像の品質（解像度）を設定します。
ビデオフリップ	カメラ映像の上下左右の反転を設定します。 ※スマカメを逆さ（天井など）に設置したときは「上下反転」「上下左右反転」を選択します。
環境モード	スマカメを設置する環境を設定します。 ※蛍光灯照明下では映像がちらつくことがありますので、設置する場所の電源周波数に合わせて選択してください。
動体検知	動体検知の感度やスケジュールを設定します。
録画モード	録画をしない、連続録画、動体検知と連動など、録画方法を設定します。 スマカメ V モデルのカメラは、連続録画のスケジュール設定が可能です。
LED 制御	スマカメ本体の LED の ON / OFF を設定します。
夜間モード	昼間モード（カラー）、夜間モード（モノクロ）、自動（暗くなったら夜間モードに切り替わる）を設定します。
APN	挿入している SIM カードの各種 APN 情報を設定します。 ※ APN 情報は通信事業者との契約書類や SIM カードケース、通信事業者のウェブサイトでご確認ください。
ユーザー名	
パスワード	
接続先 SSID	接続している無線 LAN アクセスポイントの SSID を表示します。

再起動設定	ボタン	スマカメを再起動させるスケジュールの設定画面を表示します。
どこでもセンサー	ボタン	スマカメと連動させるどこでもセンサーの設定画面を表示します。
Wi-Fi設定	ボタン	スマカメの接続先無線LANアクセスポイントの設定画面を表示します。
パスワード変更	ボタン	スマカメのパスワードの設定画面を表示します。
保存	ボタン	本画面で変更した各種設定内容を保存します。
キャンセル	ボタン	本画面で変更した各種設定内容を取り消し、スマカメ設定画面を閉じます。

3.5.4 再起動設定画面

設定した曜日の指定時刻にスマカメを自動で再起動させます。

※再起動はスマカメ Pro から危機に対して指示するため、スマカメ Pro は指定時刻にスマカメと接続されている必要があります。

3.5.5 どこでもセンサー設定画面

どこでもセンサー（WS-USB01-THP / WS-USB02-PIR）をスマカメ Pro と連動させます。

※あらかじめ [Planex Cloud Service](#) に登録する必要があります。

登録方法については[どこでもセンサーのスタートガイド](#)を参照してください。

※センサーが取得した値は Planex Cloud Service に送信されます。

<環境センサー> / <人感センサー>

MAC アドレス	登録するどこでもセンサー（WS-USB01-THP / WS-USB02-PIR）の MAC アドレスを入力します。
トークン	どこでもセンサーを Planex Cloud Service へ登録後、同サイトの「デバイス情報」画面に表示される TOKEN を入力してください。
☒ 温度が 上限 0 °C 以上で通知する。 下限 0 °C 以下で通知する。	取得した温度が入力値を上回った（下回った）場合、メイン画面のセンサーアイコンで通知するか設定します。チェックボックス ON で通知します。
☒ 湿度が 上限 0 % 以上で通知する。 下限 0 % 以下で通知する。	取得した湿度が入力値を上回った（下回った）場合、メイン画面のセンサーアイコンで通知するか設定します。チェックボックス ON で通知します。
☒ 気圧が 上限 0 hPa 以上で通知する。 下限 0 hPa 以下で通知する。	取得した気圧が入力値を上回った（下回った）場合、メイン画面のセンサーアイコンで通知するか設定します。チェックボックス ON で通知します。
☒ 人体検知が 0 分以内は通知する。	本製品が Planex Cloud Service からデータ取得した時刻を起点として、人体を検知した時刻が「[入力値] 分以内だった場合に、メイン画面のセンサーアイコンで通知するか設定します。チェックボックス ON で通知します。
☒ メール通知	アイコンで通知する際、メールによる通知を同時におこなうか設定します。チェックボックス ON で通知します。メール設定は「 3.8.2 送信メールの設定 」を参照してください。
Planex Cloud Serviceへ	Planex Cloud Service へのリンクです。
保存 ボタン	本画面で変更した各種設定内容を保存します。
キャンセル ボタン	本画面で変更した各種設定内容を取り消し、センサー設定画面を閉じます。

3.5.6 接続先アクセスポイント設定画面

スマカメ本体の周辺にある利用可能なアクセスポイントを検索して表示します。
一覧に表示されたアクセスポイント(SSID)を選択して、パスワードを入力して接続します。

※接続先アクセスポイントを変更する場合は、正しいパスワードを入力してください。

パスワードを間違えると、スマカメがアクセスポイントに接続できなくなり、映像の視聴ができなくなってしまう恐れがあります。



<接続先アクセスポイント設定>

パスワード	選択したアクセスポイントのパスワードを入力します。
[再検索]	アクセスポイントを再度検索して一覧に表示します。

接続	ボタン	選択したアクセスポイントとスマカメを無線 LAN で接続します。
キャンセル	ボタン	本画面で変更した各種設定内容を取り消し、接続先アクセスポイント設定画面を閉じます。

3.5.7 パスワード設定画面

スマカメのパスワードの変更をおこないます。

※安全にご使用いただくため、必ず初期パスワードから変更してご利用ください。

※変更後のパスワードを忘れてしまった場合は、スマカメを初期化してください。

スマカメ本体の QR ラベルに記載されているパスワードになります。

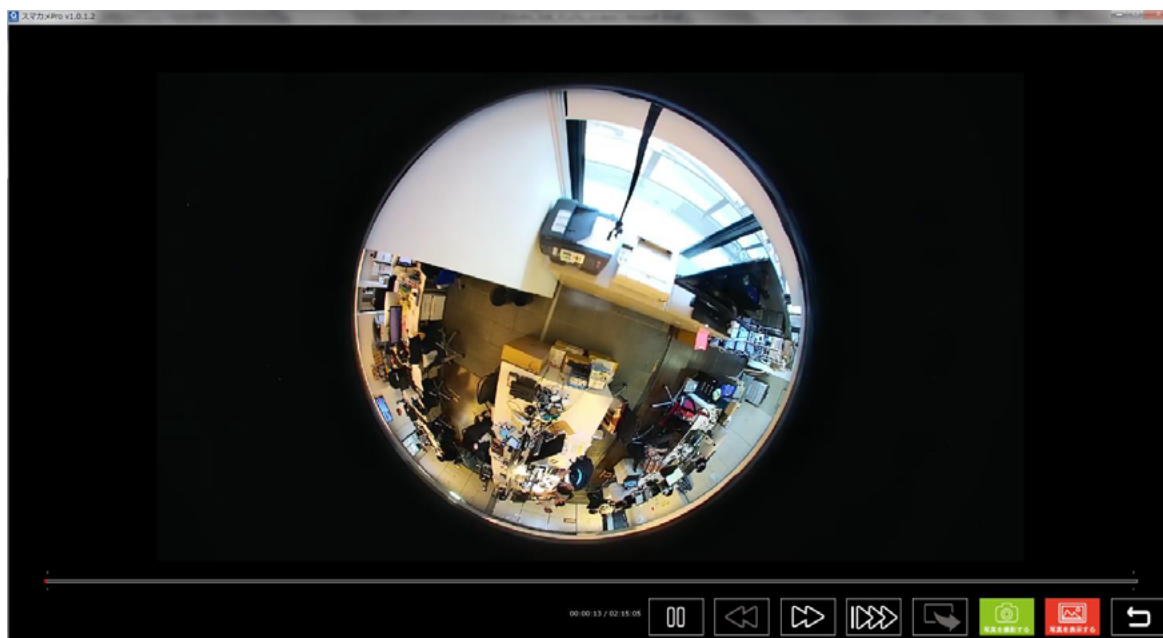


<パスワード設定>

パスワード (旧)	現在スマカメに設定されているパスワードを入力します。
パスワード (新)	新しいパスワードを入力します。
パスワード (再)	確認のため、パスワード (新) と同じパスワードを入力します。

変更	ボタン	変更したパスワードをスマカメ本体に設定します。
キャンセル	ボタン	入力した内容を取り消し、パスワード変更画面を閉じます。

3.6 録画映像を見る（動画リスト画面）



本機器に録画されているスマカメの映像を再生するための画面です。

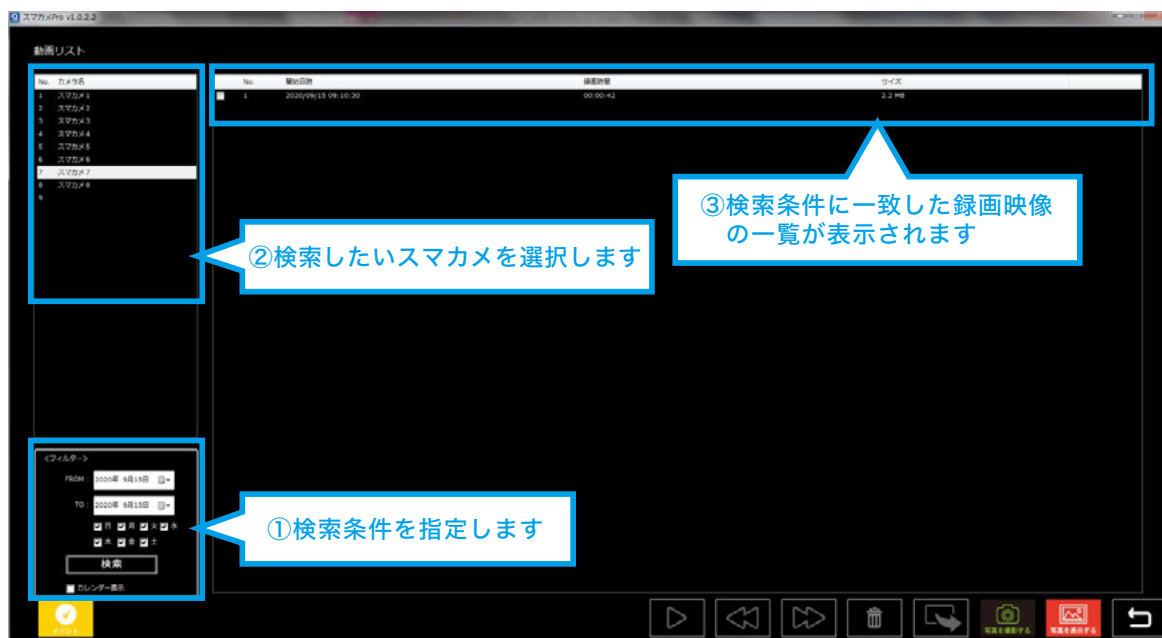
本機器では、最大9台のスマカメの映像を録画することができ、録画映像は本機器内に保存されます。

日付で検索したり、タイムラインやサムネイル画像を選択することで、目的の映像を簡単に再生することができます。

また、録画されている映像をMP4形式で所定の場所に保存するなど、各種機能をご利用いただくことができます。

3.6.1 録画映像の検索

本機器に録画されている 録画映像の検索がおこなえます。



録画映像の検索は、下記の手順（上記図参照）でおこないます。

- ① <フィルター>で検索の条件を指定します。
- ② 「カメラ名」から検索したいスマカメを選択します。（〔検索〕ボタンを押すと、選択しているスマカメで検索をおこないます。）
- ③ 検索条件と一致した録画映像の一覧がリストに表示されます。

<フィルター>	
FROM	年・月・日それぞれの数字を選択して、検索範囲の開始日を指定します。 (右側のカレンダーアイコンをクリックし、カレンダーから日付を指定することもできます。)
TO	年・月・日それぞれの数字を選択して、検索範囲の終了日を指定します。 (右側のカレンダーアイコンをクリックし、カレンダーから日付を指定することもできます。)
曜日（日月火水木金土）	特定の曜日を複数指定することができます。
〔検索〕	指定した条件で、録画映像の検索をおこないます。

	ボタン	検索結果の一覧で選択している録画映像を再生します。 ※検索結果の一覧で録画映像をダブルクリックしても録画映像は再生されず。
	ボタン	検索結果の一覧で選択している録画映像の一つ前（上）の録画映像を再生します。
	ボタン	検索結果の一覧で選択している録画映像の一つ後（下）の録画映像を再生します。
	ボタン	検索結果の一覧のチェックボックスにチェックを入れている録画映像を削除します。
	ボタン	検索結果の一覧で選択している録画映像から開始時間と終了時間を指定して切り取り、切り取った録画映像を指定されたフォルダに MP4 形式で保存します。
 写真を表示する	ボタン	撮影した静止画の保存先フォルダを開きます。
 イベント	ボタン	<フィルター>で選択されている日付（From、To）をあらかじめ設定した状態で、イベントリスト画面を開きます。 「3.7 イベント録画映像を見る」 を参照してください。
	ボタン	メイン画面へ戻ります。

3.6.2 録画映像のタイムライン表示

本機器に録画されている録画映像をタイムラインで表示します。

一覧にサムネイル画像が表示されますので、視覚的に録画映像の選択が可能です。



- ① 画面左下の「カレンダー表示」にチェックを入れます
- ② 「カレンダーで検索したい日付を指定します。
- ③ 「カメラ名」から検索したいスマカメを選択します。
- ④ 映像が記録されている時間帯は、タイムラインに赤帯で表示されます。
- ⑤ 録画映像のサムネイル（約 5 分ごと）が一覧に表示されます。

<カレンダー>	
カレンダー表示	通常の映像録画検索の画面と、タイムライン表示の切り替えをおこなうためのチェックです。
年月	年・月それぞれの数字を選択して検索月を指定します。 （「◀」「▶」で年月の移動は可能です。）
日付	検索したい日付を選択します。

	ボタン	サムネイル一覧で選択している録画映像を再生します。 ※サムネイルをダブルクリックしても録画映像は再生されません。
	ボタン	サムネイル一覧で選択している録画映像の一つ前の録画映像を再生します。
	ボタン	サムネイル一覧で選択している録画映像の一つ後の録画映像を再生します。
	ボタン	検索結果の一覧で選択している録画映像から開始時間と終了時間を指定して切り取り、任意のフォルダに MP4 形式で保存します。
	ボタン	撮影した静止画の保存先フォルダを開きます。
	ボタン	カレンダーで選択されている日付をあらかじめ設定した状態で、イベントリスト画面を開きます。
	ボタン	メイン画面へ戻ります。

3.6.3 録画映像の再生画面

本機器に録画されている録画映像を再生します。



再生中の映像領域をダブルクリックすると、映像領域を最大化した画面で表示します。再度ダブルクリックすると最大化画面表示が解除されて元の画面に戻ります。

※音声は再生されません。

動画の再生

シークバー	再生している録画映像の進捗を表示します。 カーソルをドラッグ、またはシークバー上をクリックすることで、再生位置を指定することができます。
再生時間／ 終了時間	再生中の録画映像の総録画時間と現在の再生時間を表示します。

 ボタン	録画映像の再生中は一時停止ボタンが表示され、クリックすると再生を一時停止します。 再生ボタンをクリックすると再生を再開します。
 ボタン	再生している録画映像の一つ前の録画映像を再生します。
 ボタン	再生している録画映像の一つ後の録画映像を再生します。
 ボタン	再生している録画映像を早送りで再生します。
 ボタン	再生中の録画映像のスナップショットを撮影し、静止画ファイル (PNG 形式) として保存します。保存される静止画のファイル名は、動画録画時の日付/時刻をもとに生成されます。
 ボタン	撮影した静止画の保存先フォルダを開きます。
 ボタン	動画リスト画面へ戻ります。

3.7 イベント録画映像を見る（イベントリスト画面）



スマカメのmicroSDカードに保存されているイベント録画映像を再生するための画面です。

動体検知録画や連続録画など、スマカメ本体の設定に応じて録画されているイベント録画映像を、日付で検索して簡単に再生することができます。

3.7.1 イベントの検索

スマカメのmicroSDカードに録画保存されているイベント録画映像の検索がおこなえます。



イベント録画映像の検索は、下記の手順（上記図参照）でおこないます。

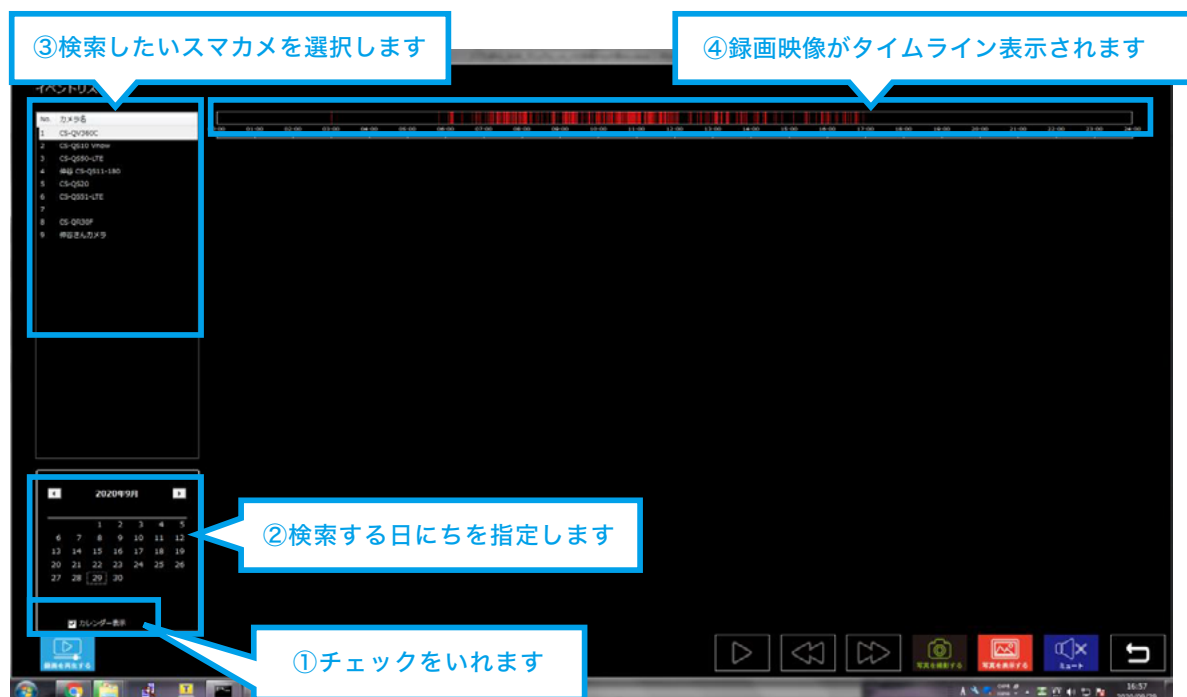
- ① <フィルター>で検索の条件を指定します。
- ② 「カメラ名」から検索したいスマカメを選択します。
（[検索] ボタンを押すと、選択しているスマカメで検索をおこないます。）
- ③ 検索条件と一致したイベント録画映像の一覧が、リストに表示されます。

<フィルター>	
FROM	年・月・日それぞれの数字を選択して、検索範囲の開始日を指定します。 (右側のカレンダーアイコンをクリックし、カレンダーから日付を指定することもできます。)
TO	年・月・日それぞれの数字を選択して、検索範囲の終了日を指定します。 (右側のカレンダーアイコンをクリックし、カレンダーから日付を指定することもできます。)
曜日(日月火水木金土)	特定の曜日を複数指定することができます。
イベント	特定のイベントを指定することができます。
[検索]	指定した条件で、イベント録画映像の検索をおこないます。

	ボタン	検索結果の一覧で選択しているイベント録画映像を再生します。 ※検索結果の一覧でイベントをダブルクリックしても録画映像は再生されます。
	ボタン	検索結果の一覧で選択しているイベントの一つ前（上）のイベント録画映像を再生します。
	ボタン	検索結果の一覧で選択しているイベントの一つ後（下）のイベント録画映像を再生します。
	ボタン	撮影した静止画の保存先フォルダを開きます。
 / 	ボタン	イベント録画映像を再生した時の音声出力機能をオン / オフします。 オンのときは「聞く」ボタン、オフのときは「ミュート」ボタンが表示されます。 オンにした場合、本機器に接続されたスピーカーからイベント映像の音声が出力されます。
	ボタン	<フィルター>で選択されている日付（From、To）をあらかじめ設定した状態で、録画リスト画面を開きます。 「3.6 録画映像を見る」 を参照してください。
	ボタン	メイン画面へ戻ります。

3.7.2 イベント録画映像のタイムライン表示

スマカメの microSD カードに録画保存されているイベント録画映像をタイムラインで表示します。



イベント録画映像の検索は、下記の手順（上記図参照）でおこないます。

- ① 画面左下の「カレンダー表示」にチェックを入れます。
- ② カレンダーで検索したい日付を指定します。
- ③ 「カメラ名」から検索したいスマカメを選択します。
- ④ 映像が記録されている時間帯は、タイムラインに赤帯で表示されます。

<カレンダー>

カレンダー表示	通常のイベント検索の画面と、タイムライン表示の切り替えをおこなうためのチェックです。
年月	年・月それぞれの数字を選択して検索月を指定します。 （「◀」「▶」で年月の移動は可能です。）
日付	検索したい日付を選択します。

	ボタン	検索結果の一覧で選択しているイベント録画映像を再生します。 ※検索結果の一覧でイベントをダブルクリックしても録画映像は再生されます。
	ボタン	検索結果の一覧で選択しているイベントの一つ前（上）のイベント録画映像を再生します。
	ボタン	検索結果の一覧で選択しているイベントの一つ後（下）のイベント録画映像を再生します。
	ボタン	撮影した静止画の保存先フォルダを開きます。
 / 	ボタン	イベント録画映像を再生した時の音声出力機能をオン / オフします。 オンのときは「聞く」ボタン、オフのときは「ミュート」ボタンが表示されます。 オンにした場合、本機器に接続されたスピーカーからイベント映像の音声が出力されます。
	ボタン	<フィルター>で選択されている日付（From、To）をあらかじめ設定した状態で、録画リスト画面を開きます。 「3.6 録画映像を見る」 を参照してください。
	ボタン	メイン画面へ戻ります。

3.7.3 イベント録画映像の再生画面

スマカメの microSD カードに録画保存されているイベント録画映像を再生します。



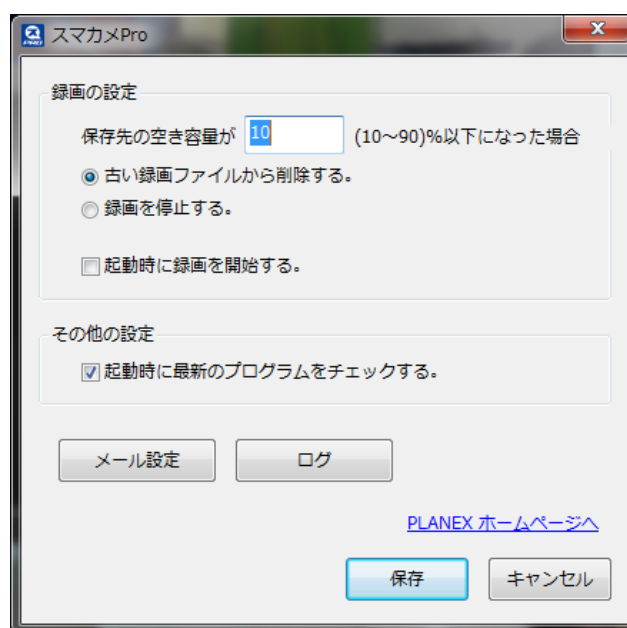
再生中の映像領域をダブルクリックすると、映像領域を最大化した画面で表示します。再度ダブルクリックすると最大化画面表示が解除されて元の画面に戻ります。

動画の再生	
シークバー	再生しているイベント録画映像の再生開始位置を指定できます。
イベント録画日時	再生中のイベント録画映像の日時を表示します。

※「シークバー」と「イベント録画日時」は、スマカメ V モデルのイベント録画映像でのみ表示されます。

 ボタン	イベント録画映像の再生中は一時停止ボタンが表示され、クリックすると再生を一時停止します。再生ボタンをクリックすると再生を再開します。
 ボタン	再生しているイベントの一つ前のイベント録画映像を再生します。
 ボタン	再生しているイベントの一つ後のイベント録画映像を再生します。
 ボタン	再生中の録画映像のスナップショットを撮影し、静止画ファイル (PNG 形式) として保存します。保存される静止画のファイル名は、イベントの日付/時刻をもとに生成されます。
 ボタン	撮影した静止画の保存先フォルダを開きます。
 ボタン	再生中のイベント録画映像の音声出力機能をオン/オフします。オンのときは「聞く」ボタン、オフのときは「ミュート」ボタンが表示されます。 オンにした場合、本機器に接続されたスピーカーからイベント映像の音声が出力されます。
 ボタン	イベントリスト画面へ戻ります。

3.8 各種設定画面



本機器の各種設定をおこなうための画面です。

録画映像の削除、スマカメとの接続 / 切断時のメール送信、ログに関する設定など、本機器のご利用にあたっての各種設定をおこなうことができます。

3.8.1 録画の設定

本機器の映像録画に関する設定と、最新プログラムの確認有無について設定します。

録画設定	
指定容量の入力欄	録画保存先に残しておきたいディスクの空き容量を設定します。
古い録画ファイルから削除する。	空き容量の値が指定容量より少なくなったときは、古い録画映像を削除することで録画を継続します。
録画を停止する。	空き容量の値が指定容量より少なくなったときは録画を停止します。
起動時に録画を開始する。	本機器を起動（ログイン）した際に、自動的に録画を開始するかどうかを設定します。
その他の設定	
起動時に最新のプログラムをチェックする。	本機器を起動（ログイン）した際に、新しいバージョンのスマカメ Pro が公開されていないかチェックします。 公開されている場合は、更新するかどうかの確認画面が表示されます。

3.8.2 送信メールの設定

本機器は、登録しているスマカメとの接続が切断された場合には指定したメールアドレスに対して通知メールを送信することができます。

本画面は、通知メールの送信に使用する SMTP サーバーや送信先メールアドレスの設定をおこなうための画面です。

送信メールの設定

☒ スマカメの接続状態をメール通知する。

SMTPサーバー: smtp.gmail.com

ポート番号: 587

ユーザー名: planex_nvr@planex.co.jp

パスワード: ●●●●●●●●

送信元: planex_nvr@planex.co.jp

送信先: planex_nvr@planex.co.jp

☒ TLS 有効

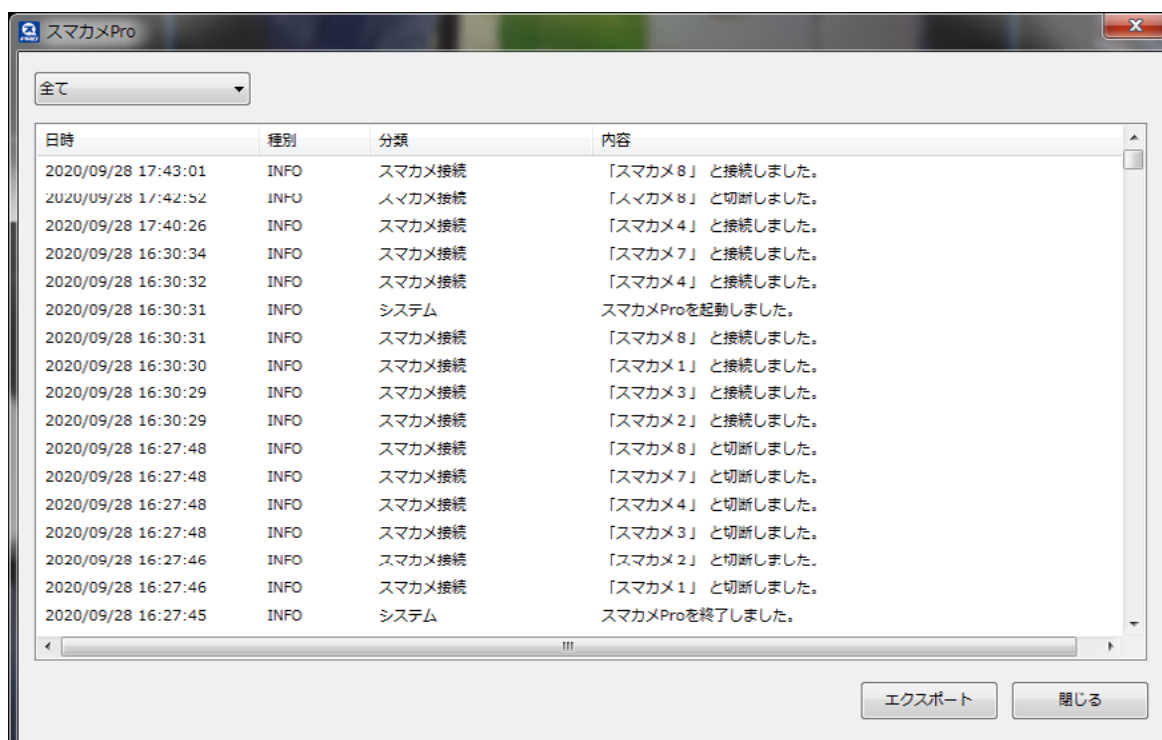
保存 キャンセル

送信メールの設定	
スマカメの接続状態をメール通知する。	スマカメとの接続が切断された場合、またはどこでもセンサー反応時に通知メールを送信する場合は、チェックボックスにチェックを入れます。
SMTP サーバー	送信メールサーバー（SMTP サーバー）のアドレスを入力します。
ポート番号	プロバイダが指定する SMTP ポート番号を入力します。 1 ～ 65535 の半角数字が入ります。 (一般的には「25」ですが、SMTP 認証が必要な場合は、プロバイダが指定した SMTP ポート番号（通常の場合：「587」）を設定します。)
ユーザー名	認証に利用するユーザー名（ユーザー ID）を入力します。
パスワード	認証に利用するユーザー名のパスワードを入力します。
送信元	通知メールの送信元メールアドレスを入力します。
送信先	通知メールの送信先メールアドレスを入力します。
TLS 有効	プロバイダが TLS をサポートしている場合はチェックします。

※メールの送信はサーバーの提供元において各種制限がかけられている場合があります。
ご利用にあたって不明な点がある場合は、サーバーの提供元にお問い合わせください

3.8.3 ログの表示

本機器とスマカメとの接続の履歴などをログとして表示します。



ログの種別

全て	すべてのログです。
情報	起動、スマカメとの接続・切断などのインフォメーションログです。
エラー	本機器でエラーが発生した際のログです。

ログの表示

エクスポート	表示されているログ情報を CSV ファイル形式で保存します。
--------	--------------------------------

4. お問い合わせについて

お問い合わせいただく前に、「困ったときは」「サポート Q & A 情報」をご覧ください、お問い合わせの情報が掲載されているかお確かめください。

サポート Q&A 情報（FAQ、よくある質問と答え）

<http://www.planex.co.jp/FAQ/>

オンラインマニュアル ※最新版のマニュアルを参照できます。

<https://www.planex.co.jp/support/download/cs-nvr01/>

プラネックスコミュニケーションズ（株）サポートセンター

パソコンでのお問い合わせ

お問い合わせフォーム <http://www.planex.co.jp/support/techform/>
受付：24 時間

電話でのお問い合わせ

サポートダイヤル **0570-064-707**

受付時間／ 10：00 ～ 12：00 ・ 13：00 ～ 17：00（月～金曜日）

※祝祭日および弊社指定の休業日を除く

サポートを円滑におこなうため、お問い合わせの前に以下のものをご用意ください。
お客様のご協力をお願いいたします。

- 弊社製品の製品型番とシリアルナンバー
- ご使用のネットワーク環境（回線の種類やインターネットサービスプロバイダ名など）
- ご質問の内容
（現在の状況、症状など、エラーメッセージが表示されている場合はその詳細を書きとめてください。）

5. 商標について

本製品および本書の一部または全部を事前の承諾なしにいかなる形態においても複製、商用利用、第三者への販売、譲渡、レンタル、頒布することができません。

- プラネックスコミュニケーションズ、PLANEX COMMUNICATIONS は、プラネックスコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- Microsoft および Windows は、米国 Microsoft® Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です。

その他、記載のある会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

6. ソフトウェアについて

本製品には、当社以外の第三者が権利を有している次のソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアについては、当該ソフトウェアのライセンスが適用されます。ソフトウェアの著作権表示、免責事項または使用許諾条件などについては下記をご確認ください。なお、当社以外の第三者による規定のため、一部原文（英文）で掲載しています、使用許諾条件に同意されない場合、本製品を使用することはできません。

- 「FFmpeg」（使用許諾元：GPL v2）

弊社は、GNU General Public License Version 2（以下「GPL v2」といいます。）の使用許諾に基づき、本ソフトウェアの動画視聴機能において、ビデオアプリケーション「FFmpeg」^(※1)を使用しています。

弊社は、「FFmpeg」について、いずれも一切の権利を主張しないものとします。

「FFmpeg」GPL v2のライセンス条件のもとに弊社へ配布され、弊社より配布された者（お客様）は当該ライセンス条件のもとに使用することができるものとします。

弊社は、お客様による本ソフトウェアの使用に際し、GPL v2のライセンス条件に従い「FFmpeg」のソフトウェア一式を配布するものとします。詳しくは次のウェブサイトを確認下さい。

GPL v2の原文：<http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.en.html>

（参考非公式日本語訳：<http://www.opensource.jp/gpl/gpl.ja.html>）

（※1）「FFmpeg」は、Fabrice Bellard氏が創設したFFmpegプロジェクト（<http://ffmpeg.org>）の商標です。

- 「OpenCV」

IMPORTANT: READ BEFORE DOWNLOADING, COPYING, INSTALLING OR USING.

By downloading, copying, installing or using the software you agree to this license.

If you do not agree to this license, do not download, install, copy or use the software.

License Agreement
For Open Source Computer Vision Library

Copyright (C) 2000-2008, Intel Corporation, all rights reserved.

Copyright (C) 2008-2010, Willow Garage Inc., all rights reserved.

Third party copyrights are property of their respective owners.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistribution's of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistribution's in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * The name of the copyright holders may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

This software is provided by the copyright holders and contributors "as is" and any express or implied warranties, including, but not limited to, the implied warranties of merchantability and fitness for a particular purpose are disclaimed.

In no event shall the Intel Corporation or contributors be liable for any direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages (including, but not limited to, procurement of substitute goods or services; loss of use, data, or profits; or business interruption) however caused and on any theory of liability, whether in contract, strict liability, or tort (including negligence or otherwise) arising in any way out of the use of this software, even if advised of the possibility of such damage.

- 「libtiff」

Copyright (c) 1988-1997 Sam Leffler

Copyright (c) 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that (i) the above copyright notices and this permission notice appear in all copies of the software and related documentation, and (ii) the names of Sam Leffler and Silicon Graphics may not be used in any advertising or publicity relating to the software without the specific, prior written permission of Sam Leffler and Silicon Graphics.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS-IS" AND WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS, IMPLIED OR OTHERWISE, INCLUDING WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

IN NO EVENT SHALL SAM LEFFLER OR SILICON GRAPHICS BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INCIDENTAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY KIND, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER OR NOT ADVISED OF THE POSSIBILITY OF DAMAGE, AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

- 「libjpeg」

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.